

社会科学習指導案

1 小単元名 店のしごと

2 小単元について

本小単元は学習指導要領第3学年の内容(2)「地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」のア「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること」及びイ「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を受けて設定した。本小単元では販売の仕事が消費者の願いをもとに工夫や努力をしていることを知り、自分たちがその恩恵を受けていることに気付くことをねらいとしている。

前小単元「にんじんをそだてる」では、自分たちの身近なところから興味を高め、視点を広げていくことをねらって学習をした。子どもたちは、給食の献立調べから始まり、給食室や千葉東部営農センターに手紙を書いたりして、千葉市ではにんじんが多く育てられ、そのために多くの工夫や努力がなされていることを学んできた。その結果、毎日の献立を見てにんじんが使われているものを子ども同士で話しているなど、自分たちの生活とにんじん農家とのつながりまでは意識がもてている。しかし、その他の野菜の農家とのつながりまでは意識がもてていない。

本学級の子どもは、調べたことをまとめて満足してしまう子どもが多い。調べたことをまとめて、その知識を関連させることで自分と社会とのつながりを見出していくことが大切になると考える。また、本学級では買い物に保護者とよく行っている子どもが多い。しかし、買い物の際に気を付けていることがないという子どもが多く、消費者としての意識はほとんどもっていないという面がある。そのため、買い物をする店がどんな工夫をしているかということには目が向いていない。店の工夫に目を向け、調べるとともに、その工夫と消費者の願いとの関連について考えていくことが大切になると考える。

本小単元では、消費者の願いをもとに販売の仕事は工夫や努力をしているということに気づき、いろいろな店を選んで買い物ができることのよさに気付かせたい。前単元では、実際に調べたにんじん農家のみで他の作物まで子どもたちの知識・理解が広がらずに終わってしまっている。それを踏まえて、本小単元は、2サイクルでの学習として取り組んでいきたい。まず、保護者が何をどこで買っているのか買い物調べを行った。その後、なぜその店で買っているのかということ子どもたちに予想させてから比べる。そして、一番利用されている駅前のスーパーマーケット(S)に見学に行き、その工夫や努力について調べる活動を通して、その工夫や努力が消費者の願いと関連していることに気付かせる。しかし、店の工夫はより多くの消費者に買ってもらうためのものだけではない。個人の消費者の多様な願いに応える工夫もあるということに気付かせるために、地域で長く営業している商店(K商店)にも見学に行き、その工夫や努力についても調べる。子どもたちがスーパーマーケットの工夫や努力を知るだけで終わるのではなく、知識を関連付けて考えられる学習としたい。そのため、最後にスーパーマーケットと商店を比較しながら、学級全体でその工夫や努力について話し合いをしていく。話し合いの際に、買い物調べをしたときの保護者の買い物の理由も振り返り、その関連についても考えさせたい。そして、店によって工夫や努力の違いはあるにせよ、消費者の願いをもとに商店の工夫や努力も行われているということに気付かせたい。本単元の2サイクルでの学習を通して、消費者としての自分ということに子どもたちが気付けるようにしたい。

3 子どもの実態（男子16名、女子16名 計32名）

（1）子どもの生活と買い物への意識

①おうちの人と買い物に行くことはどのくらいありますか ・週に2回以上…13名（41%） ・週に1回くらい…11名（34%） ・月に何回か…6名（19%） ・行かない…2名（6%）
②買い物はどこへ行きますか（複数回答あり） ・S（スーパー）…22名 ・K商店…4名 ・なりたや（スーパー）…3名 ・セブンイレブン…4名 ・レオ（スーパー）…4名 ・ウエルシア…2名 ・鎌取イオン…2名 ・おゆみ野イオン…2名 ・リヨン（パン屋）…2名 ・コストコ…2名
③なぜその店に多く行きますか（複数回答あり） ・近い…11名 ・欲しいものがある…8名 ・安い…3名 ・おうちの人が行くから…2名 ・安売りの日がある…3名
④買い物をするときにどんなことに気をつけていますか。（複数回答のみ） ・特に気をつけていない…11名 ・買いすぎない…4名

実態調査より、多くの子どもたちが様々な店に保護者と買い物へ行っていることがわかった。しかし、子どもたちは特に意識せず買い物をしていることもわかった。この小单元では、消費者としての保護者の様々な願い、販売者としてのお店の人の様々な工夫や努力にふれていく。その中で、子どもたちが消費者の願いを踏まえて、販売者が工夫や努力をしていることを知り、自分たちも消費者であるということを自覚させていきたい。

（2）店に関する知識

①保護者へインタビューしてみましょう。店を選んだ理由はなんですか。（複数回答あり） ・他の用事のついで…10名 ・色々なものが一気にそろう…10名 ・近い…10名 ・安い…5名 ・特売日がある…3名 ・この店でないと買えないから…3名 ・牛乳が安い…2名 ・いつもこの店…1名 ・魚が新鮮…1名 ・野菜が新鮮…1名 ・よい食材が置いてある…1名 ・卵が大きくて安い…1名
②お店で働く人たちはどんな仕事をしていると思いますか（複数回答あり） ・レジ打ち…17名 ・商品整理…9名 ・商品補充…7名 ・食べ物を作る…4名 ・パンを焼く…2名

（1）と①の実態調査から、保護者と子どもとの買い物の理由を比べると、保護者の店を選ぶ理由の方が多岐にわたっていることがわかる。子どもたちからは出なかった視点が多くあることに目を向けさせ、消費者の願いとして扱い、販売者の工夫や努力と関連付けて考えさせたい。

②の実態調査から、自分が行く時間に目に見えている人たちを働いていると捉えている子どもがほとんどである。バックヤードでの仕事であるパック詰めやバーコードを貼る、魚を捌くなどの仕事にはなかなか目が向いていない。子どもたちは、目に見えることについては分かっているが、その裏で多くの人働いていることまでは意識が向いていないことがわかる。子どもたちの見えない部分でも働いている人がいて、その人たちの工夫や努力のおかげで買い物がしやすくなっていることへも意識を向けさせたい。

(3) 社会的事象に対する思考力・判断力・表現力

①前単元「にんじんをそだてよう」のまとめ

○分かったことと自分の生活とを関連付けている…10名(31%)

- ・農家の人の工夫や努力が分かった。これからありがたく食べていきたい。
- ・今度農家の人のようにおいしいにんじんを育ててみたい。

○分かったことが書かれている…19名(60%)

- ・機械をたくさん使っているのが分かった。
- ・時期によって、やることが違うことが分かった。

○活動が書かれている…3名(9%)

- ・友だちと楽しく活動できた。

実態調査から、自分たちの生活へと学んだことをつなげている子どもは3割程度だった。今までの単元では得た知識を分類分けする活動で押さえておらず、子どもたちは自身が得た知識を自分なりに考えているに過ぎなかった。そのため、本小単元ではこれまでの学習では各自がそれぞれで考えて、自分の生活と結びつけていた知識をグループや学級で関連付けてまとめていくことが必要になる。そのため2サイクルとし、丁寧に学んだ知識を押さえていきたい。その上で、子どもたちが知識を自分たちの生活と関連付けて考えられるようにしていきたい。

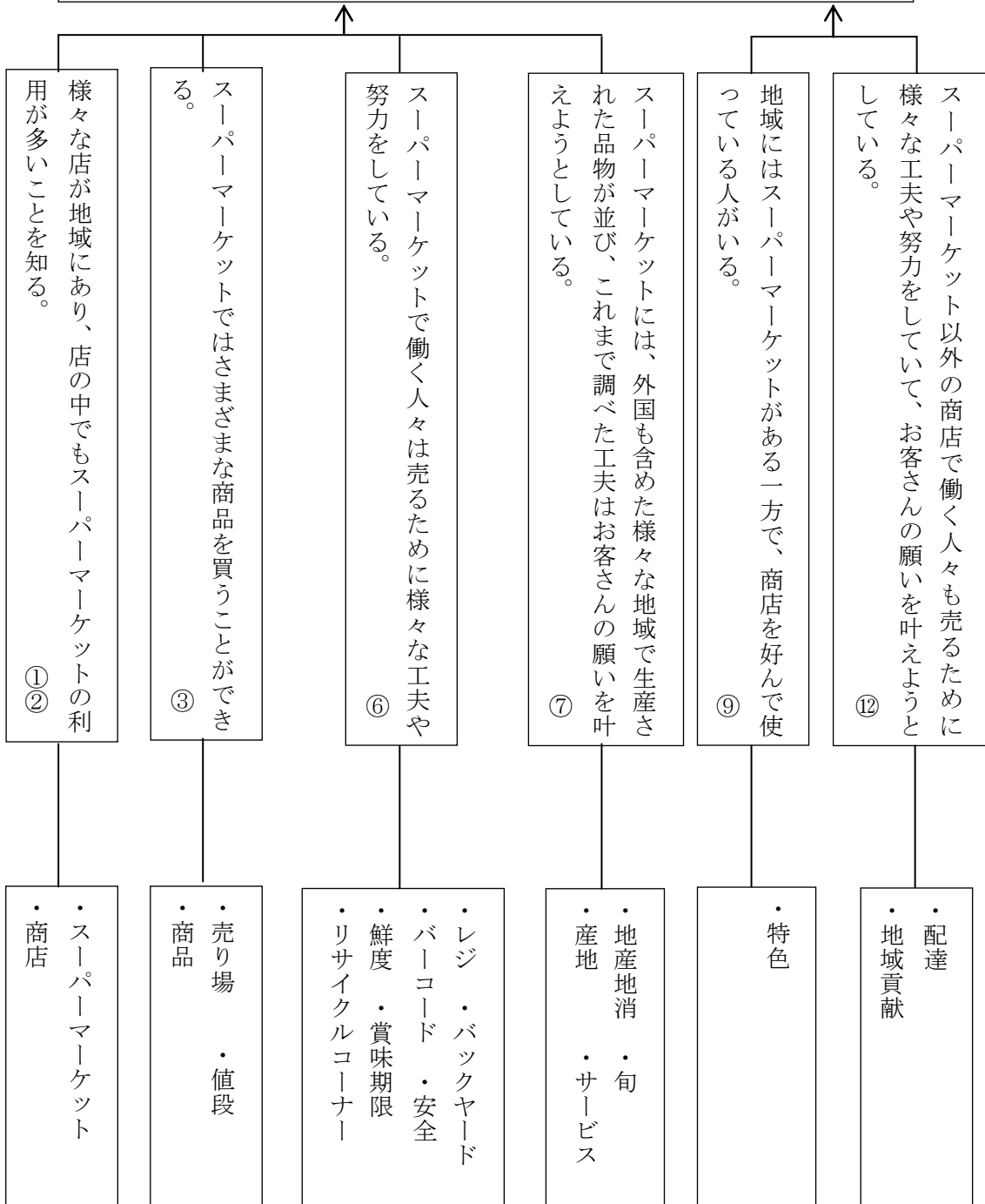
4 知識の構造図

中心概念

販売に携わる仕事をする人々は、お客さんの願いをかなえるために工夫や努力をしていた。お客さんは生活に合わせて店を選んで利用することができる。 ⑧⑬

まとめる

具体的知識



用語・語句

つかむ

調べる

※④⑤⑩⑪は見学活動のため具体的知識なし。

5 小単元の目標

- 地域には販売に携わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などのかかわりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。
- 地域の販売の仕事の様子から学習問題を見出し、見学・調査したり、資料を活用したりして具体的に調べたことをまとめ、これらの仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。

6 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人々の販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ○地域の人々の販売の仕事と自分たちとの生活のかかわりを考えている。
社会的な思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人々の販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○地域の人々の販売の仕事の様子を自分たちの生活と関連づけて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、まとめている。
社会的事象についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 ○地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などのかかわりを理解している。

7 小単元の指導計画

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ○地域にはさまざまな商店があることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前にはスーパーマーケットのSがある。 ・コンビニが4軒ある。 ・K商店（個人商店）の野菜がおいしい。 ○自分たちが買い物によく行く商店を確認し、なぜその商店に行くのか理由を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・Sは近いから。 ・K商店は納豆がおいしいから。 ・コンビニは近いし、遅くまでやっているから便利だから。 ○買い物の理由や場所については、保護者にインタビューをしないとわからないことを知り、どんな内容をインタビューするのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・どこで買い物をすることが多いのだろうか。 ・どんなものを買うことが多いのだろうか。 ・なぜその店で買い物をしたのだろうか。

	2	<p>○買い物インタビューの結果から保護者が買い物をする場所やその理由について分かることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットだと仕事帰りや習い事の帰りに寄れるから。 ・Sの魚は新鮮だから。 ・K商店でないと買えないものがあるから。
	3	<p>○これまで考えてきたことから学習問題を作り、予想を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">なぜSに多くの人が買い物に行くのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・値段が安いから。 ・清潔だから。 ・新鮮なものが買えるから。 <p>○学習計画を立て、どのように調べていくか考える。</p>
調べる (二次)	4・5	<p>○Sで見学を行う。</p> <p>○見学したことはプリントにメモをする。</p>
	6	<p>○見学したことを見取り図にまとめ、その工夫や努力について全体で話し合い、項目ごとにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段と商品名が大きく書かれていて見やすい値札だった。 ・温度を管理して商品が新鮮なまま売っている。 ・車椅子などが用意されていて様々な人が使えるようになっている。
	7	<p>○Sの広告を見て分かったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のいろいろな地名がある。 ・外国の名前もある。 ・千葉県のものもある。 ・今しか売っていない季節のものもある。
まとめる (一次)	8	<p>○Sで働く人たちが、なぜ今まで調べてきたような様々な工夫や努力をしているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売るためには買う人のことを考えないと売れない。 ・保護者に聞いた理由と、つながっている。 ・買う人のための工夫だ。 <p>○調べたことを振り返りながら、学習問題についてまとめ、消費者と販売に携わる人々の関連を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">Sでは、品物を見やすくしたり、商品を新鮮なまままで売れるようにしたり、どんな人が来てもいいように様々な工夫や努力をしている。買い物がしやすいので多くの人が買い物に行く。</div>
	9	<p>○買い物調べを振り返り、学習問題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">K店はなぜ地域の人をひきつけているのだろうか。</div> <p>○Sと、K商店とはどんな違いがあるのかを予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでしか買えない誉田の豆腐がある。 ・千葉県産の野菜が多い。 ・地元農家の野菜と書いてあった。 <p>○K商店を見学する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質に関すること。 ・人との関わりについてのこと。 ・品物の見やすさのこと。
つかむ (二次)		

調べる (二次)	1 0	○K 商店に見学へ行く。
	1 1	○見学してメモをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元産って書いてある。 ・地域の豆腐が売っている。 ・配達をしている。 ・好きな納豆が置いてあった。 ・地元の人の漬物があった。
	1 2 1 3	○調べてきたことを見取り図に書き出し、工夫や努力を個人で項目ごとにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校や近くの老人ホームへ商品を配達している。 ・客への配達している。 ・地域の農家が野菜やつけものなどを持ってきて置いている。 ・地域の長浜豆腐が置いてある。 ・常連さんの「いつもの」で伝わる。
まとめる (二次)	1 4 本 時	○S にない K 商店の工夫や努力について学級全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・買う人のための工夫だった。 ・売るために買う人の願いを考える必要がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>K 商店は、地域の人々の願いをより細かくかなえるために、せんだうにない工夫や努力をしていた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お店はたくさんの思いや願いを受けて、工夫や努力やサービスをしていることが分かった。(それぞれの違いがあるから、より多くの願いがかなっている) ・S や K 商店にはもっと工夫や努力がありそう。 ・S や K 商店に行ってみたい。

8 市教研社会科研究主題解明のための方策

変貌する未来を切り拓く社会科学習
～手応えの発見につながる『深い学び』の追求～

主題との関連

研究内容1 「深い学び」に導く単元作り

○社会認識を深めるための単元構成の工夫

これまで子どもたちは、調べたことをまとめて知識を得る活動を行ってきた。しかし、そこで学習が終わってしまい、得た知識を関連させて自分と社会とのつながりを見出すところまでは深まっていなかった状態である。

そこで本小単元では、スーパーマーケット（S）についてと地域の商店（K 商店）についての2サイクルで単元を構成する。自分たちの予想と、買い物調べからわかった保護者の思いをもとに学習計画を立てる。1次では、まず、スーパーマーケットを見学して調べ、その工夫や努力、消費者とのつながりを理解するために、見学してきたことをグループごとに見取り図にまとめ、学級全体で項目立てて考える。そこからさらに消費者には多様な願いがあるということへの考えを深めるために、その後、地域で長く営業している商店にも見学に行き、その工夫や努力についても調べる。そうすることで、2次の調べ学習に取り組む前に、スーパーマーケットで学んだことを踏まえた見学の視点を考えることができる。また、調べたことを付箋紙を使って見取り図にまとめ、グループ分けしていくことでスーパーマーケットにはなかった工夫や努力を見出すことができるだろう。以上のことは、得た知識を関連付けて考えることが必要となると考える。その上で、子どもたちが消費者としての自分ということを考え、自覚できるようにしたい。

研究内容2 「深い学び」に導く授業作り

○調べたことを使って比較する場の設定

本時までに子どもたちは、1次ではスーパーマーケット（S）、2次では商店（K 商店）の2つの場所に見学に行っている。2次では、1次での学習の流れをもとに個人で販売者の工夫や努力について考えてきている。本時では、まずグループでスーパーマーケットと商店を比較し、その共通点、相違点について話し合い、そのことを学級全体で話し合っていく。1次で学習し、項目立てて考えたことを掲示物としてまとめて掲示しておく。そこで分けた項目と同じように分けられるのか考えさせる所から学習を始め、項目の中に入れていく活動の中で共通点・相違点について意識して考えていけるようにする。グループでの話し合いがスムーズに進むために、付箋紙にあらかじめ、見つけた工夫を書いておく。そして、ワークシートに貼っていくことで共通点・相違点が明確になり、話し合いに視点をもたせることができるだろう。項目については、品質に関すること、陳列・吊り広告などの売り場の見やすさに関すること、車いすの用意や通路の幅など売り場の使いやすさに関することが、1次の項目立てる際に出てくると予想される。学級全体で話し合う際には、相違点について重点的に取り扱うようにし、店によって違う工夫や努力があることに考えを深めさせたい。その上で、その工夫や努力も消費者の願いとつながりがあることに気づき、消費者の願いの多様性を踏まえて各店が工夫や努力をしていることに気付かせたい。

9 本時の指導

(1) 目標

○2つの販売店の仕事の様子を比べ、どちらも消費者のための工夫があることに気付き、その違いをワークシートに適切に表現することができる。(思考・判断・表現)

(2) 展開 (14 / 14)

時配	学習活動と内容	教師の支援○と評価◆	資料・教具
5	1 本時の課題の確認をする。	○学習計画を振り返って、学習することを確認させる。	学習計画の掲示物
	K商店はなぜ地域のお客さんをひきつけているのだろうか。		
15	2 5・6人グループで話し合いをしながら、付箋紙をワークシートに貼り、スーパーマーケットSの工夫や努力の項目で分類をしていく。 ・商品が種類ごとにまとまっているのは、Sの並べ方の項目と同じだ。 ・地域の人に配達しているのはSにはない項目だ。	○発言した子どもが見つけた工夫や努力に対して、同じもの、似ているものがあれば、続けて発言するように助言する。 ○Sについてもすぐ見て比べられるように項目立てたものを配布する。	Sのプリント 掲示物 ノート ワークシート
15	3 学級全体でSとかとう商店の工夫や努力の共通点、相違点を話し合う。 ・新鮮なものが売れるようにしているのはSの品質の項目と同じだ。 ・地域の農家の方が自分たちで持ってくるのはSにはない項目ではないか。	○グループで話したことを各グループの発言と比べられるようにする。 ○前のグループで出た内容以外の工夫や努力を発言させる。出ていなかった項目について話をし、考えが深められるようにする。 ◆2つの販売店の仕事の様子を比べ、どちらも消費者のための工夫があることに気付き、その違いをワークシートに適切に表現することができる。(思・判・表)	Sのプリント 掲示物 ワークシート ノート
5	4 Sにはなかった工夫や努力をまとめて名前をつけ、ノートにまとめる。 ・地元のための工夫だ。 ・お年寄りのための工夫だ。 ・人のつながりの工夫だ。	○工夫や努力に共通点はないか探し、2つの共通点、3つの共通点と項目を増やして考えられるよう助言する。	ワークシート ノート
	5 本時のまとめをし、ふりかえりを書く。		掲示物

5	<p>K商店は、地域の人々の願いをより細かくかなえるために、スーパーマーケットSにない工夫や努力をしていた。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・他のお店はどんな工夫をしているのだろう。お家の人と行ってみたい。 ・いろいろなお店の中から選ぶことで、自分たちは便利な生活ができています。 	<p>○お店全体へと視点を向けて振り返りが書けるように声をかける。</p>

板書計画

K商店はなぜ地いきの人をひきつけているのだろうか

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">品しつ</div> <p style="margin-left: 20px;">同じところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいぞうされて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">新鮮なものが欲しい</div> <p style="margin-left: 20px;">いて、長持ち。</p>	<p style="text-align: center;">ちがうところ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">地元とのかかわり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">当日子どもと話して記入します。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・はいたつ ・地元の野菜 ・「いつもの」でわかる
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">見つけやすさ</div> <ul style="list-style-type: none"> ・しゅるいごとにまとまっている <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">買いやすい店がいい</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>K商店は、地域の人々の願いをより細かくかなえるために、Sにない工夫や努力をしていた。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">人との関わり</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ひくめのたなが多い。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">多くの人のこと</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">地域のねがいをかなえる</div> <p>お店はたくさんの思いやねがいをうけて、くふうやど力をしている。</p>